Clip! 市税等滞納整理強化月間について

問合先：税務課
収納対策室

市では、納期内に納税している大多数の方との公平性を保ち、滞納の解消を図っていくため、10月から12月までの3カ月間を「市税等滞納整理強化月間」と定め、滞納者に対し、電話及び訪問催告・訪問徴収による滞納整理のための取り組みを積極的に実施します。

○市税等の納期内納付

納期限までに税金が完納されない場合には、納期限の翌日から納付の日までの日数に応じ、税額の次の割合を応じて計算した延滞金がかかりますので、納期内納付をお願いします。

◆延滞金の割合

○納期限の翌日から1カ月を経過する日まで
　↓年4・3％（年により率が変動します。）
○1カ月を経過した日以降
　↓年14・6％

○滞納処分の実施

現在、山梨県と共同で「山梨県滞納整理推進機構」を設置し、滞納整理（差押）の強化をしています。督促状、催告書、納税指導に従わない滞納者に対して、差押等の滞納処分を強力に推進していきます。

○納税相談

・納期限までに納付できない場合は、必ず納税相談にお越しください。
・災害や病気などの事情により納期までに納められない場合は、徴収の猶予制度などもあります。
・平日時間のない方のために、毎週水曜日は午後7時まで窓口を開設しています。お気軽にご利用ください。

【延滞金計算例】

税額100,000円を納期限の2カ月後に納付した場合

○納期限の翌日から1カ月を経過する日まで（31日間）
①100,000円×31×4.3%÷365＝365.2円
（1円未満を切り捨て、365円となります。）

○1ヶ月を経過した日から納付日まで（31日間）
②100,000円×31×14.6%÷365＝1,240円
①365円＋②1,240円＝1,605円
100円未満を切捨　**延滞金は1,600円となります。**

Clip! 骨粗鬆症予防検診を受けましょう！

問合・申込先：健康推進課
保健・予防担当　電話(46)5113

～骨粗鬆症って？～

骨粗鬆症とは体内のカルシウムの不足から骨の量（骨塩量）が減少し、骨がスカスカになり、折れやすくなる状態のことをいいます。

～骨粗鬆症の原因とは？～

骨粗鬆症は突然起こるわけではありません。性別・年齢・体質以外に、長い間の生活習慣（偏食・運動不足・日光浴不足、アルコール・タバコ）などいろいろな原因が影響しています。

転ばぬ先の骨検診
～早期発見のすすめ～

20歳から30歳をピークに骨のカルシウム量は減ってきます。特に、女性は閉経後に急激に減るといわれています。3年に一度は骨密度を測りましょう。

対　象　80歳以下の市民
※痛みなどの症状がある方は、医療機関で受診してください。
場　所　都留市下谷2516―1
いきいきプラザ都留
3階　研修室
実施日・受付時間
11月9日（金）
9時～11時、13時～16時
11月10日（土）
8時30分～11時
検診方法　超音波法（足のかかとを検査します。短い時間でできます。）結果はその日に説明してお渡しします。
検診料　500円
申込期限　11月7日（水）17時まで

骨の状態チェック！
～いくつ該当しますか？

- □あまり牛乳、乳製品をとらない。
- □あまり小魚や豆腐をとらない。
- □喫煙、飲酒の習慣がある。
- □晴れてもあまり戸外に出ない。
- □からだを使う機会が非常に少ない。
- □どちらかといえばやせ気味だ。
- □家族に骨粗鬆症と診断された人がいる。
- □糖尿病の既往や胃切除の経験がある。
- □閉経を迎えている。
- □若い頃から月経が不順であった。

●チェックの結果、多くの項目に該当する人は、骨が弱くなる可能性があるそうです！

Clip! インフルエンザ予防接種がはじまります

問合先：健康推進課
保健・予防担当　☎(46)5113

インフルエンザの流行する季節を前に、個人の発病・重症化防止を目的に予防接種がはじまります。

平成24年度のワクチン株は、A型株（H1N1）、（H3N2）、B型株の3株混合の3価ワクチンです。

助成対象者

市内に居住かつ住民基本台帳登録されている方で、
①満65歳以上の方
②満60歳～65歳未満の方で、心臓・腎臓・呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を持つ方（身体障害者手帳1級程度）

接種期間

平成24年10月1日～
平成25年1月31日まで

◆予防接種を受けてから、インフルエンザに対する抵抗力が付くまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5カ月間とされているので、12月中旬までに接種すると効果的です。

助成接種料金

各医療機関の設定接種料金のうち、2,000円を、公費で負担します。差額は自己負担となりますので、接種時に医療機関でお支払いください。

◆助成は実施期間中1回だけです。
◆生活保護世帯の方は、3,600円を上限に助成しますので、接種前に健康推進課へ、専用の予診票の交付申請をしてください。
※昭和21年12月1日～昭和22年11月30日生まれの方及び昨年度65歳以上でインフルエンザ予防接種を受けた方には、お知らせとともに予診票を送付します。
※費用助成対象者で、昨年度接種していなくて、今年度接種をご希望の方は、健康推進課までお申込みください。予診票と接種済証を送付します。

■高齢者のインフルエンザ予防接種市内協力医療機関（順不同）

医療機関名	電話番号
回生堂病院	☎(43)2291
磯部医院	☎(43)4121
須藤整形外科医院	☎(43)3151
坂本整形外科医院	☎(43)2227
大戸内科医院	☎(45)3188
武井クリニック	☎(45)6811
富士渡辺内科	☎(45)8881
野村眼科医院	☎(20)8070
東桂メディカルクリニック	☎(20)8010
山岸医院	☎(43)2067
つる内科クリニック	☎(45)1003
ツル虎ノ門外科リハビリテーション病院	☎(45)8861
中野診療所	☎(45)4440
水島医院	☎(56)8220
しまだ医院	☎0555(25)2388
都留市立病院	☎(45)1811

※上記以外の医療機関をご希望の方は健康推進課までお問合わせください。

インフルエンザを予防しよう

インフルエンザは、突然現れる高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強いのが特徴で、併せてのどの痛み、鼻汁、せきなどの症状もみられます。

わが国では、例年12月～3月がインフルエンザの流行シーズンです。一人ひとりが感染予防に努めましょう。

【予防の基本は…】

インフルエンザは飛沫感染以外にも、手指を介して接触感染しますので、手洗い、手指消毒を励行しましょう。

以下のポイントに留意して、予防をしましょう。

○バランスの良い食事や休養を十分とりましょう。
○人ごみや繁華街への外出を控えましょう。
○室内では、適度な温度、湿度（50～60％）を保つようにしましょう。
○手洗い・手指消毒やうがいを励行しましょう。
○マスクを着用（のどや鼻の粘膜の防御機能と咳エチケットの励行）
○インフルエンザ予防接種（重症化を予防する）

【インフルエンザにかかったら…】

インフルエンザは感染しやすいので、かかった人が無理をして仕事や学校等へ行くと、急速に感染を広めてしまうことになります。以下のポイントに留意しましょう。

○単なるかぜだと軽く考えず、早めの受診を。
○安静と休養。特に睡眠を十分にとることが大切です。
○水分を十分補給しましょう。
○マスクは正しく着用しましょう。
○外出は自粛しましょう。

【咳エチケットを守りましょう】

○咳、くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れましょう。
○ティッシュが無い場合は、腕や袖口で口や鼻を覆いましょう。
○鼻汁・痰などを含んだティッシュをすぐに蓋付きのゴミ箱に捨てましょう。